

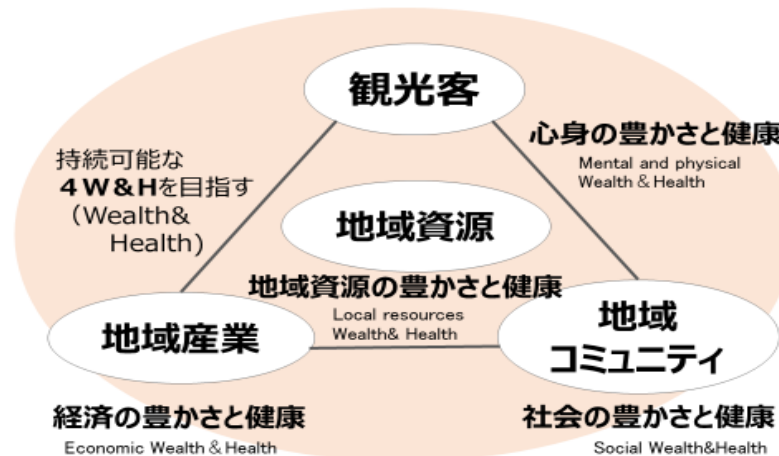
第3章 観光で目指す本市の将来像

1 本市の観光が目指す姿

1-1 基本理念

ウェルネスなツーリズム(Wellness Tourism:心身の美と健康、人生の豊かさを求める観光)を実現する要素として、地域資源を核として観光客、地域コミュニティ、地域産業事業者が存在します。地域産業事業者は、地域資源を活用した事業を行います。地域コミュニティは、地域産業で働き、あるいは、地域資源を活用した地域産業が生み出す商品やサービスの購入、地域産業のもたらす税収を基盤とした公的サービスを享受しながら暮らしています。観光客は、地域資源の魅力そのものだけでなく、地域に暮らす人々や産業の営みに憧れを抱き、来訪します。このように4つの存在は、互いに影響しあう関係にあります。したがって、持続的な観光振興では、これらの関係性の均衡を保つことが不可欠です。

ウェルネスなツーリズムを実現する4つの豊かさと健康



出所:UNWTO(2007)の VICE モデルを基礎に、荒川(2017)「ウェルネス・ツーリズム ーサードプレイスへの旅ー」掲載の概念輪郭を引用し作成したもの

本市は、4つの豊かさと健康(地域資源を含む環境の豊かさと健康、観光客にとっての心身の豊かさと健康、地域コミュニティ社会の豊かさと健康、地域産業の経済の豊かさと健康)を維持しながら、本市に関わるあらゆる人々の人生を豊かにするような地域づくりを目指し、基本理念を以下のとおりとします。

- ・訪れる人、暮らす人、働く人の人生を豊か(Wealth)にする観光地域づくり
- ・ウェルネスなツーリズム(Wellness Tourism:心身の美と健康、人生の豊かさを求める観光)の実現

1-2 基本方針

基本理念の実現に向けて、本市の観光における課題であるマーケティング力の不足、地域内及び広域連携の不足、財弱な組織体制と人材不足などを克服し、観光でまちの活気を取り戻すために、次の基本方針に基づき各施策に取り組みます。

基本方針1 持続的かつ競争力のある観光地域づくり

・地域資源の保全と活用をしながら、あらゆる人々(訪れる人、暮らす人、働く人)が地域に誇りや愛着もてる持続的かつ競争力のある観光地域を創り続けます。

基本方針2 観光客の来訪促進

・顧客の視点(欲求、価値観、行動タイプなど)に基づいた来訪促進のための仕掛けや仕組み、集客イベントの開催、デジタルを始めとした情報コンテンツの作成と配信を行うことで、本市の魅力に共感するとともに、継続的・長期的な滞在を促進します。

基本方針3 観光客受入のための社会基盤の強化

・「賑わい」のある空間づくりや、「快適さ」の追求と「不便さ」の解消、「安心・安全」の管理と実践に必要なマニュアル策定など、ハードとソフトの両面で観光客受入のための社会基盤を強化します。

基本方針4 強靱な観光地経営基盤づくり

・観光地域づくりを担う人材の確保と育成、観光消費の拡大を狙った地域内及び周辺市町との広域連携の推進体制の強化、まちづくりとの一体化、安定的な観光財源の確保策の検討など、強靱な観光地経営の基盤をつくります。

2 数値目標

基本理念の実現に向けて、次の目標指標を掲げその進捗を管理します。

那須塩原市観光マスタープラン目標指数(KPI)

目標指標	単位	基準値(2019年)	目標値(2027年)
延べ宿泊者数	人	917,970	1,000,000
観光客入込数	人	8,811,708	9,500,000
旅行消費額(宿泊)	円/人	19,186	25,500
旅行消費額(日帰り)	円/人	5,357	8,900
来訪者満足度	%	34.4※1	39.0
		21.4※2	
来訪者不満足度	%	6.0※3	5.8
		7.4※4	
外国人宿泊者数	人	10,716	13,000

※1 5段階のうち5(大変満足)を選んだ人の割合(那須塩原市来訪者観光動態調査 2019年)

※2 7段階のうち7(大変満足)を選んだ人の割合(日本交通公社「旅行年報 2019」栃木県の数値)

※3 5段階のうち1~3(どちらでもない以下)を選んだ人の割合(那須塩原市来訪者観光動態調査 2019)

※4 7段階のうち1~5(どちらでもない以下)を選んだ人の割合(日本交通公社「旅行年報 2019」栃木県の数値)